

Senior Community

2012年 3・4月号

特集

「サ高住」と「地域包括」で変わるもの

- 尾崎純郎氏 (レビー小体型認知症家族を支える会顧問) インタビュー
「認知症になっても大丈夫」という
メッセージを発し、認知症がポジティブに
受け入れられる社会づくりをめざす。
- 同時改定が意味するものとは何か
- 高齢者の“安心”をかたちにした
ミサワホームグループのサービス付き高齢者向け住宅。

<http://www.hhcs.co.jp/> 地域包括ケア・ケアマネジメント・デイサービス・高齢者住宅・老人ホーム・病院・診療所



U ビジョン研究所が初の介護施設を認定

市民による中立的な立場から特養ホームなどの介護施設の認証制度を進めている NPO 法人 U ビジョン研究所（本間郁子理事長 TEL 03（6904）4611）は、2月1日、千葉県八街市において、第一号の介護施設となる社会福祉法人生活クラブが運営する「生活クラブ風の村特養ホーム八街」を認証した。

認証とは、介護施設によりサービスがバラバラで分かりにくいいため、第三者機関が介護事業の事業体のシステムや機能を中立的な立場で評価し、認定する仕組みであり、同研究所は、書類調査や家族・職員アンケート調査、ヒ

アリング調査、最低二泊三日の夜間を含む観察調査など14種類の調査を踏まえた日本初となる介護施設の認証制度「悠」を発足させていた。

第一号となった同ホームでは、14種類の評価の結果、認証の対象として設定されているサービスの5つのカテゴリの全てにおいて、最優秀または優秀の評価を取得して今回認定されたもの。

当日の認定証書の授与式では、同研究所の本間理事長が「日本では、介護施設のサービスの質を担保する仕組みが制度的になく、虐待など入居者の人権が守られていない状況がある。Uビ

ジョン研究所では平成15年からサービスの質を担保する仕組みの構築を有識者とともに検討し始め、海外の調査や比較検討を行い、8年かけて日本の文化にあった認証制度を確立した。」と強調し、同ホームに対しては「今後も認証施設に年1回行う抜き打ち調査などを利用し、この水準を確保して行っていただきたい」と述べた。

なお同研究所では認証取得を希望する介護施設を募集しており、今後は認証施設を増やすとともに、認証施設の情報を市民に提供し、市民が安心して介護施設を選べる仕組みを構築していく方針である。